

江戸歴史講座第 35 回 EDO ART EXPO 関連講座

武士の表道具—江戸時代の刀剣外装—



沃懸地葵紋蒔絵螺鈿打刀 江戸 19 世紀 東京国立博物館

江戸時代、武家の象徴でもあった大小の刀。刀をおさめた柄（つか）や鞘（さや）、鐔（つば）をはじめとした刀装金具の製作は、技術的にも高度に発達しました。特に鞘の漆塗、鐔、三所物（みところもの）といわれた小柄（こづか）・笄（こうがい）・目貫（めぬぎ）の意匠や精緻な彫金技術は目を見張るものがあります。太刀と刀の相違をはじめ、登城の際の服装や刀の形式に触れながら、刀剣の外装について紹介します。

講師

池田 宏（東京国立博物館 上席研究員）

福岡県生まれ。國學院大學大学院文学研究科。日本史学専攻博士課程前期修了。専門は日本甲冑史、有職故実。「出雲—聖地の至宝—」(2012)、「国宝 大神社展」(2013)などを担当した。

開催概要

- 日時：2015 年 10 月 7 日（水）19:00～20:30（受付 18:30～）
- 会場：日比谷図書文化館 地下 1 階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200 名（申込順）
- 参加費：1,000 円（千代田区民の方は 500 円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：来館（1 階受付）、電話（03-3502-3340）、E メール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
 - ① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

EDO ART EXPO とは…

2008 年より NPO 法人東京中央ネットにより毎秋「EDO ART EXPO」を開催。中央区、千代田区、港区、墨田区の名店、企業、ホテル、神社仏閣や文化・観光施設、教育機関など、既存の 60 力以上の施設がパビリオン(会場)となり、江戸から続く伝統や文化、歴史を紹介する事業です。

開催期間：2015 年 9 月 25 日（金）～10 月 13 日（火）